

予 算 要 求 資 料

令和3年度12月補正予算 支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：感染症予防費

事業名 新型コロナウイルス感染症患者入院医療機関設備整備費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部感染症対策推進課 検査対策係 電話番号：058-272-1111 (内 4988)

E-mail：c11237@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 492,081 千円 (現計予算額：796,611 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	796,611	796,611	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	492,081	492,081	0	0	0	0	0	0	0
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

新型コロナウイルス感染症に対する県内の感染拡大防止と医療提供体制の整備のため、医療機関への支援を行う必要がある。

(2) 事業内容

新型コロナウイルス感染症患者の入院医療を提供する医療機関に対し人工呼吸器等の購入に要する経費を補助する。

(3) 県負担・補助率の考え方

国 10 / 10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	492,081	入院医療を提供する医療機関の設備整備に対する補助金
合計	492,081	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第5波「緊急事態措置延長」を受けて～「^{いのち}生命を守る」体制の強化～

1 (3) 入院体制の強化

(2) 国・他県の状況

- ・新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針（R3.9.28改定）p62
「都道府県は、関係機関の協力を得て、新型コロナウイルス感染症の患者専用の病院や病棟を設定する重点医療機関の指定等、地域の医療機関の役割分担を行うとともに、病床・宿泊療養施設確保計画に沿って、段階的に病床・宿泊療養施設を確保すること。その際、妊産婦等の特別な配慮が必要な患者を含め、必要な場合に確実に入院につなげられる体制を整備すること。」

(3) 後年度の財政負担

医療機関が使用する設備等の整備に補助するものであり、今回の補助に対して後年度の県の財政負担は生じない。

(4) 事業主体及びその妥当性

国の「令和3年度新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金（医療分）交付要綱」では、都道府県の補助事業であることが定められている。

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 新型コロナウイルス感染症の感染拡大（第6波以降）に備え、入院医療の提供体制を十分なものにする必要がある。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移	現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目 標	達成率
	(H)	(H) (H)	(H)	(R)	%
	(H)	(H) (H)	(H)	(R)	%

○指標を設定することができない場合の理由

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を予測することができず、その都度必要な対策を柔軟かつ迅速に実施する必要があるため。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
 新型コロナウイルス感染症患者の入院病床を確保した医療機関（31機関）に対し、人工呼吸器、ECMO、簡易陰圧装置等の整備に要する経費を補助した。

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
 各入院医療機関において、様々な様態の入院患者に対して適切な医療が提供できる体制の整備が図られた。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	第6波以降の流行規模や重症者の割合を予測することは難しく、入院患者が爆発的に増加した場合に備え、必要かつ適切な医療を提供できる体制を整備する必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	入院医療機関が必要とする各種医療資機材の整備が進み、確保病床の実効性が向上している。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	感染拡大や入院患者増加の状況を踏まえて補助の拡充を図っている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を予測することができず、その都度必要な対策を柔軟かつ迅速に実施する必要がある。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県内の感染状況や国の対策など、刻一刻と変化する情勢を的確に分析し、必要な対策を柔軟かつ迅速に実施していく。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	